

21世紀の母子保健

2001年(平成13年)

「健やか親子21」スタート

我が国の母子保健には妊産婦死亡や乳幼児の事故死亡など、世界最高水準に達しきれなかった課題や、思春期における健康問題、育児不安や児童虐待をはじめとする親子の心の問題があります。

そこで「健やか親子21」をつくりました。

「健やか親子21」は

○21世紀の母子保健における取組の課題として目標(値)を示しました。

○国民をはじめ、関係機関・団体が一体となつて行う国民運動計画です。

○関係機関・団体が「健やか親子21推進協議会」を設立し、運動を推進しています。

2003年(平成15年)

次世代育成支援対策推進法成立

2005年(平成17年)より

「健やか親子21」をふまえた地域行動行画がスタートします。

2005年(平成17年)

「健やか親子21」中間評価・見直し

取り組みを評価し必要な見直しを行います。

「健やか親子21」のさらなる推進にむけて再スタート



2010年(平成22年)

「健やか親子21」目標達成!!

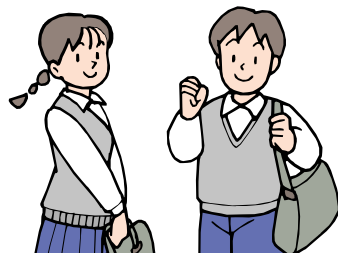
21世紀初頭における母子保健の国民運動計画

2001→2010年

課 題

思春期の保健対策の強化と健康教育の推進

親 応援期
子 思春期



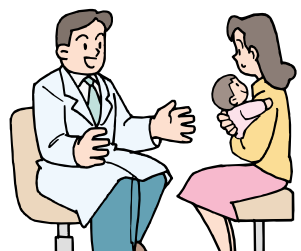
妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援

親 妊産婦～産じょく期
子 胎児期



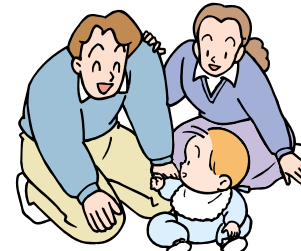
小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備

親 育児期
子 新生児期～乳幼児期～小児期



子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減

親 育児期
子 新生児期～乳幼児期～小児期



現 状 (ベースライン)

十代の人工妊娠中絶実施率

12.1

※2000年 人口千対15歳以上20歳未満の女子(44,477人)

十代の性感染症罹患率

性器クラミジア感染症 男子 196.0 女子 968.0
淋菌感染症 男子 145.2 女子 132.2

※2000年 人口10万対 有症感染率15～19歳

15歳の女性の思春期やせ症(神経性食欲不振症)の発生頻度

不健康やせ 中学3年 5.5% 高校3年 13.2%
思春期やせ症 中学1年～ 2.3% 高校3年 2.3%

※2002年 「不健康やせ」とは何らかの健康影響をもたらす可能性のあるやせ 「思春期やせ症」には思春期のやせ症の疑いのある生徒を含む

妊産婦死亡率

6.6 (78人)

※2000年 出生10万対

産後うつ病の発生率

13.4%

※2001年

周産期医療ネットワークの整備

14都府県

※2000年

全出生数中の極低出生児の割合
全出生数中の低出生児の割合

極低出生児 0.7%
低出生児 8.6%

※2000年

不慮の事故死亡率

0歳 18.2 10～14歳 2.6
1～4歳 6.6 15～19歳 14.2
5～9歳 4.0

※2000年 人口10万対

初期、二次、三次の小児救急医療体制が整備されている都道府県の割合

初期 70.2% (33都府県)
二次 12.8% (6府県)
三次 100%

※2000年

虐待による死亡数

44人

※2000年 児童虐待事件における被害児童数

育児に参加する父親の割合

よくやっている 37.4%
時々やっている 45.4%

※2000年

出生後1ヶ月時の母乳育児の割合

44.8%

※2000年

2010年の目標

減少傾向へ

半 減

減少傾向へ

2005年
全都道府県

減少傾向へ

半 減

100%

減少傾向へ

増加傾向へ

目標達成に向けみんなで運動

国 民(みんな)

みんなの生きる力の向上と運動推進のための環境整備

「健やか親子21」推進協議会(地方公共団体・専門団体・民間団体)

支援

国(厚生労働省・文部科学省 等)